



No.411 令和7年11月28日

おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人 会長 広瀬安宏
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: https://ootakoren.com
印刷所
東京都大田区大森西4-6-13
電話(3766)1711
株式会社 気生堂印刷所



製品を吸着する浮上搬送装置の前で歓声をあげる来場者 (株)タンケンシールセーコウ

イベントは大きく区内4つのエリアに分かれて開催した。東急電鉄多摩川線下丸子駅から矢口渡駅の周辺である「新田丸・蒲田」エリアのほか、京浜急行電鉄本線梅屋敷駅から六郷土手駅周辺の「京急本線」エリア、京急空港線糍谷駅から穴守稲荷駅周辺の「京急空港線」エリア、城南島エリアでさまざまなプログラムを繰り広げた。

(株)桂川精螺製作所は、ベンチャー企業と協業して宇宙事業に取り組んでおり、協業する4社と宇宙展を開催した。Amateras Pace(株)は西陣織を使った日本発の次世代宇宙服「VESTRA(ヴェストラ)」を展示したほか、(株)ダイモンが開発した月面探査車

大田区内の製造業が一斉に工場や社内施設を一般公開するイベント「おおたオープンファクトリー2025」が2025年10月25日に開催された。区内全域から29カ所の工場がオープンし、製品展示や見学ツアー、体験ワークショップなどを通じて大田区が誇るものづくりの魅力を広く発信した。主催は工和会協同組合、(二社)大田観光協会、東京都立大学、横浜国立大学、(二社)おおたクリエイティブタウンセンター、(二社)大田工業連合会で構成する「おおたオープンファクトリー実行委員会」。後援は大田区、(公財)大田区産業振興協会、東京商工会議所大田支部、野村不動産パートナーズ(株)。

イベントの開幕を飾ったのは、東急電鉄多摩川線下丸子駅の近くにある工和会館でのオープニングセレモニー。当会の広瀬安宏会長は「秘密保持の観点から工場内を見せるのが難しくなる時代。それでも未来の大田区のために、ものづくりに興味を持ってもらいたいという想いが込められている。大田区の職人の心意気や精密な工程を見て1日を過ごしてほしい」と挨拶した。来賓挨拶で鈴木晶雅大田区長は「産業のまちの魅力を再発見し、持続可能な未来へとつなげられるよう、一緒にオープンファクトリーを盛り上げていきたい」と祝辞を述べた。

「YAO-KI」(今年の3月に月面着陸成功)の動作体験、宇宙での推進装置となる(株)cosmobloomのソーラーセイルなど、大田区から宇宙を目指す最先端技術が集結していた。

初出展となった(株)タンケンシールセーコウは、液体を送るポンプなどの回転軸に装着して液漏れを防ぐパッキン「メカニカルシール」等、主力製品を展示した。注目を集めたのが高精度なカーボン加工技術を用いた浮上搬送装置だ。目に見えない細かい気孔が含まれる装置の接地面は、空気力でワークを吸着したり浮かせたりする機能を持つ。来場者を実際に装置に触れ、「こんな重いものが吸い付くなんて」と不思議な体験に驚きを隠せない様子だった。

(株)杉山化学工業所は、工場の作業見学会を開催し、亜鉛めっきの工程をデモンストレーション。鈴木区長も見学し、鮮やかに色づいたためっきの技術に来場者らと共に歓声をあげていた。

ものづくり・体験・宿泊がひとつに



タフティング体験に挑戦! 大三建商(株)



学生らがものづくりのまちをアピール おおたミライベース

なった多機能スペース「大三蒲田ビル」を運営する大三建商(株)は、タフティングガンと呼ばれる専用の機械でカラフルな毛糸を布に打ち付ける「タフティング」の体験ワークショップを開催した。

ひととき注目を集めたのが、学生らがものづくりのまち大田区をアピールした「おおたミライベース」だ。区の歴史を図面や模型で紹介した展示のほか、工場の廃材から工場の模型を制作するワークショップ、お酒を片手に大田区の未来を語り合う「町IBAAR」のトークセッションなど、ものづくりのまちの未来を実験する基地のように、巧みな趣向を凝らしたイベントを実施した。

オープンファクトリー当日は、あいにくの雨模様だったが区内外から大勢の家族連れなど一般来場者が訪問。子供たちは創意工夫を凝らしたものづくり体験に目を輝かせ、悪天候を吹き飛ばす盛り上がりを見せていた。

おおたオープンファクトリー2025 創意工夫し、ものづくりの魅力を発信

令和7年度
優良従業員
表彰受賞者

10月29日(水)開催の当会正副会長会において左記11名の方の受賞が決定しました。おめでとうございます。

小倉 芳恵
課長代理
桂川電機株式会社
蒲田工業協会

木戸 崇敏
課長
桂川電機株式会社
蒲田工業協会

峰島 督尚
本社営業部 課長代理
株式会社三桂製作所
蒲田工業協会

北嶋 瑞穂
株式会社三桂製作所
蒲田工業協会

常見 由佳
名古屋支店
株式会社三桂製作所
蒲田工業協会

堀越 和弘
技師
日本電機株式会社
蒲田工業協会

板橋 正則
技師
日本電機株式会社
蒲田工業協会

寫崎 諒
所長
日本電機株式会社
蒲田工業協会

大野 順子
事業推進本部 営業部
名古屋営業所
トキワ精機株式会社
(二社)大森工場協会

平川 将一郎
主任
株式会社自強輸送機
(二社)仲池上商工業振興会

田村 佳之
部長
株式会社自強輸送機
(二社)仲池上商工業振興会

サイバーセキュリティコラム

〈〈アサヒHD、サイバー攻撃で業務がストップ〉〉

サプライチェーン揺るがす セキュリティ事故

2025年9月、大手飲料メーカーであるアサヒホールディングスが、サイバー攻撃により国内の業務をストップさせられてしまうという大きなセキュリティ事故が起きました。犯人は、海外の犯罪グループと考えられており、アサヒの機密情報を4TBも盗み出し、「お金を払わなければ公開する」と脅してきました。

なぜ影響が大きくなったのか
アサヒでは、商品の注文や生産、出荷、在庫管理などを全てITシステムで行っています。今回の事件では、ランサムウェアの感染により一部データが破壊されたことや、これ以上の感染拡大や情報漏洩を防ぐために、全てのシステムを止めるという判断がされました。その結果、注文数や生産数が分からなくなり、全国20か所の工場をストップせざるを得なくなりました。一部手作業での受注業務を再開しているものの、事故から1か月以上経った今でも全品目の10%程度しか出荷できておらず、原料や資材の調達抑制など、影響範囲は更に広がっています。

このようにサイバー攻撃は企業活動に大きな影響を与えるだけでなく、サプライチェーン全体を揺るがす事件に発展する恐れがあります。

中小企業にも迫る セキュリティリスク

ランサムウェア被害の約6割は中小企業という調査もあり、セキュリティリスクは中小企業であっても他人事ではありません。人手も予算も限られている中小企業では、より被害が拡大しやすくなるため、日ごろの対策が重要となってきます。

まず、事業継続に必要となる重要データは、毎日自動でバックアップするようにしましょう。バックアップファイルは、同じPCに保存したままではランサムウェアによって元データと一緒に破壊されてしまう恐れがあります。そのため、可能であれば、外付けハードディスクに保存し、通常は切断しておくなどオフラインでも保存しておくことが大切です。

WindowsなどのOS、PCにインストールされているソフトウェア、NW機器のファームウェアは常に最新化しておきましょう。古いバージョンのセキュリティホールをついた攻撃が多発しています。

社員に対しては、ランサムウェアの脅威を周知するほか、怪しいメールは開かないといった基本の対策を教育しましょう。

そしてトラブルが起きた場合「誰が何をするか」「どこに連絡をするか」などの対応手順を事前に決めておきましょう。万が一の場合の初動の混乱を軽減し、スムーズな情報連携、意思決定を行うことができます。

他にも具体的なランサムウェアの解説や対策は、情報処理推進機構※1や、警視庁※2のWebサイトにも掲載されていますので、社内の周知にご活用ください。

アサヒのサイバー攻撃事件は、セキュリティが企業活動に致命的な影響を与えることが浮き彫りになりました。この事件は皆様にとっても他人事ではありません。

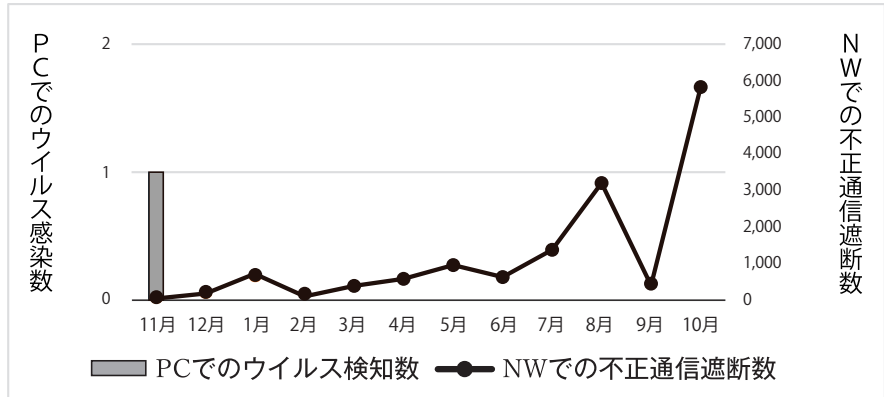
せん。サイバー攻撃を受けてからでは遅いので、今できることから1つずつ始めていきましょう。

当会会員企業への サイバー攻撃状況

当会会員企業約30社のサイバー攻撃検知状況をご報告します。

サイバー攻撃件数は9月に一時的に落ち込んだものの、右肩上がりが増えていくことが分かります。サイバー攻撃の件数は、攻撃者が「キャンペーン」と呼ばれる集中的な攻撃活動を行うかどうかによって、大きく変動します。ある月は数件だったものが、キャンペーンが始まると一気に数十、数百件に増えることもあります。特定の業界や地域を狙った攻撃が増えることもあるため、企業規模に関係なく、常に警戒を怠らないことが重要です。

サイバー攻撃件数の推移



ワーク・ライフ・バランスセミナーを開催します

大田区では、令和8年2月13日(金)午前10時から大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」にて、企業向けワーク・ライフ・バランスセミナーを開催します。

区内で活躍されている社会保険労務士を講師にお迎えして、「今こそ見直す!『ワーク・ライフ・バランス』人が辞めない・集まる!～人手不足を解消する必須戦略～」をテーマに、従業員が安心して働くことができ、人材を確保するヒントなどについてお話しいたします。

詳細は、区のホームページやチラシなどでお知らせしていきます。ぜひご参加ください。

申込はこちら



大田区 総務部 人権・男女平等推進課
電話 03-5744-1610

OTAふれあいフェスタ 青年部出店

秋風が吹くなか、大田区最大の区民まつり「OTAふれあいフェスタ2025」が11月1、2日、開催された。大田工業連合会も構成団体であるOTAふれあいフェスタ実行委員会と大田区が主催。大田区内の商店や団体、友好都市が出店を並べ、例年15万人の参加者で賑わう大イベントだ。当会青年部連絡協議会も出店し、うどんやかき氷、チョコバナナ、ホットドッグなどを販売した。

会場は3カ所に分かれている。京浜急行平和島駅から徒歩15分にある「大森ふるさとの浜辺公園（ふるさとの浜辺エリア）」、「平和の森公園（緑のエリア）」、「平和島公園（太陽のエリア）」。

前日に雨が降った関係で若干ぬかるんでいる場所もあったが、秋晴れの開催となった。荏原流れ太鼓の演奏に続いて行われたオープニングセレモニーには、当会の広瀬安宏会長も登壇。式典で鈴木晶雅区長は「この公園にはやはり太陽が似合う。それぞれのエリアにある魅力を二日間満喫し、地域のふれあい、交流の輪を広げながら大田区の魅力を感じてほしい」と挨拶した。

青年部が出店したのは「緑のエリア」。同エリアでは大道芸人がアクロバティックな芸を披露し、オリジナルのバルーンづくりワークショップが開かれるなど、家族連れ、子供たちに楽しい催しが満載だった。青年部のブースにも、かき氷やチョコバナナを買いに来る子供たちが訪れた。

登壇する広瀬会長と挨拶する鈴木区長



お客で賑わう青年部ブース



カルボナーラ風うどん



チョコバナナは子供に大人気

うどんについては、釜玉うどんに加え、青年部オリジナルのカルボナーラ風うどんを販売した。チーズと黒こしょう、ベーコンチップで味付けした一皿。記者も食べてみたが、チーズのコクがあり非常に美味しかった。

チョコバナナやかき氷は可愛いデザインで子供に好評。フランクフルトを鉄板で焼いてパンに挟んだホットドッグもよく売れていた。

子供たちや家族連れと触れ合う機会の多い同イベント。青年部のメンバーにとっても、会社や日頃の仕事を離れ、楽しめる一日となった。

大田工業連合会は、 皆様のご加入をお待ちし、歓迎します。

一般社団法人 大田工業連合会は、東京都大田区に所在する9つの工業団体、その会員企業約700社が連合し、地域の工業振興に資する各種活動を行っています。

ぜひ、皆様も地域の工業団体※に加入しませんか！地域の工業団体に加入することで当会会員となります。

- ▶蒲田工業協会 ▶（一社）大森工場協会 ▶工和会協同組合 ▶都南工業給食協同組合 ▶蒲田工業協同組合
▶（一社）仲池上商工業振興会 ▶東京南シートメタル工業会 ▶東京都京浜島工業団地協同組合連合会 ▶城南島連合会

地域の工業団体に
会費や活動等をお問合せください

条件が合えば
ご加入・会の事業にご参加

大田工連会員として会員価格で
セミナーをご受講のほか、様々な
支援策の情報を取得いただけます

ご加入の手順

各種活動は大田工業連合会のホームページからご覧ください
<https://www.ohtakoren.com/>



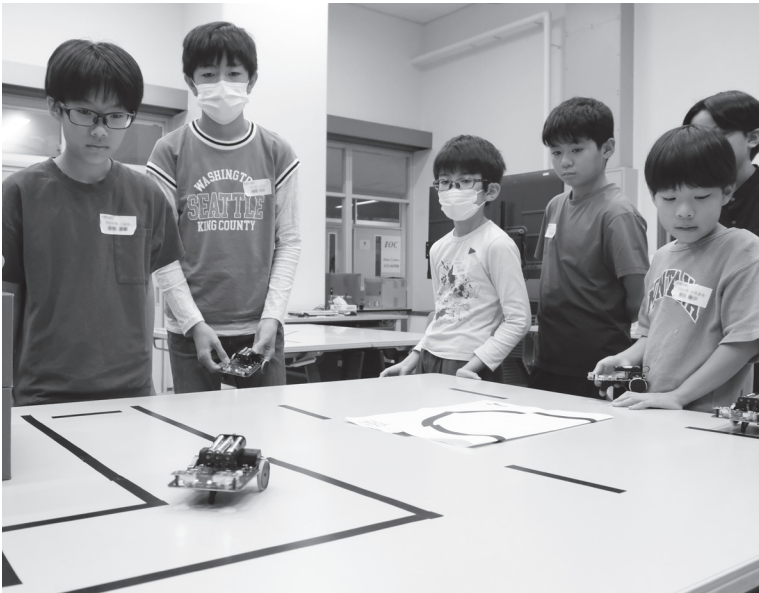
★ご加入に関するお問い合わせは
（一社）大田工業連合会担当：吉崎 連絡先：3737-0797

育て！
ミライのロボット
技術者

秋のロボットセミナー in 都立産技高専 開催



みんなで一緒にロボットの組み立て



ロボットの動きを見つめる真剣な眼差し

大田区と大田工業連合会は10月19日、東京都品川区にある東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパスで、「IoT 基礎Lab. for Junior」秋のロボットセミナーを開催した。内容はプログラミングの製作と専用ソフトでのプログラミングを通じて、ロボット工学の基本を学べるセミナーだ。大田区在住・在学の小学4年生から中学2年生までの児童・生徒が対象で、抽選で選ばれた18名が参加。指導役は同校の浅川澄人先生で、学生もサポーターとして参加した。

セミナーはプログラミングロボットカー「コロボライト2」の組み立てから始まった。同キットは光センサーとモーターを搭載し、単四電池三本で駆動する。コネクタの差し替えでセンサー位置を変えると、障害物検出や床検出、ライントレースなど動作を切り替えられるのが特徴だ。子供たちは持ち込んだ工具を駆使して、タイヤユニットやモーターを基盤へ取り付けようとするが、ボルト

にナットを用いることに慣れていない様子。浅川先生や学生から「固定したい箇所をおさえながら基盤を裏返してやると、やりやすいよ」とアドバイスを受けながら、始まって1時間後には全員が自分の力で組み上げた。

機体の完成後は、専用のサイトを用いたプログラミングに取り組んだ。サイトでは「直進」「時間」「右回転」などアイコン化されたプログラムをつないでいくビジュアルプログラミングが採用されており、直感的にプログラムを作成できる。基本的な操作方法を教わると、子供たちは夢中でプログラミングに取り組んだ。

ロボットカーを製作する教室の隣には、大きなテーブルとコースが用意された。コースは全部で7つ用意され、コースからはみ出さず一周する円状のコースや、障害物回避のコースなど多彩。同校の生徒が考え出したコースだという。子どもたちの中には最初から6番目までのコースを難なくクリアしていたものの、最後の鋭利な

やさしい図面の見方講座（2回目）

当講座では、日本工学院専門学校様のご協力をいただき、図面の役割、投影の方法、各種記号など図面を見る上で基礎となる知識を習得します。

日時 令和8年2月10日(火)・12日(木)・13日(金)・16日(月)・17日(火)(全5日間)※講座時間はいずれも、午後6時30分～9時30分

対象者 金属加工業や機械工業等に従事し、図面に関する基礎的な知識の習得を必要とする方
※原則として大田区在住または在勤の方を対象とします。

会場 日本工学院専門学校 蒲田キャンパス 大田区西蒲田5-23-22 (JR蒲田駅西口より徒歩3分)

講師 日本工学院専門学校 岡崎先生 他

定員 30名(抽選制)

受講料 会員：5,000円・非会員：6,000円(いずれも教材費等込)

申込〆切 令和8年1月8日(木)

申込・問合せ先 ※お申込みはFAXのみの受付となります。当会のホームページよりお申込み書をダウンロード又はお問合せください。
ホームページ <https://ootakoren.com/> 申込先 FAX：03-3737-0799 まで

